

平成27年6月定例会が6月11日（木）から6月26日（金）まで開催されました。

今定例会で審議された議案

- 議案第1号 鎌ヶ谷市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について
議案第2号 平成27年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算（第1号）
議案第3号 和解の仲裁の申立てについて

＜結果＞

可決
可決
可決

今定例会で審議された請願・陳情

- 請願 27-6-1 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願
陳情 27-6-1 戦争法（平和安全法制整備法、国際平和支援法）案の廃案を求める意見書の提出を求める陳情書
陳情 27-6-2 「国」における平成28年（2016）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書
陳情 27-6-3 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
陳情 27-6-4 安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書採択に関する陳情
陳情 27-6-5 憲法を守り、日本を海外で戦争する国にする「戦争法案」の廃案を求める意見書の採択を求める陳情
陳情 27-6-6 集団的自衛権行使の容認に伴う安全保障法制の成立に反対する意見書の提出を求める陳情書
陳情 27-6-7 安全保障関連法案を廃案にするよう求めるたんがん書に関する陳情書

不採択
不採択
採択
採択
不採択
不採択
不採択
不採択

代表質疑(概要)



公明党からは佐藤誠議員が会派を代表して議案に対する質疑を行いました。

議案第1号については、職員の配偶者が海外にいる場合に限り最長3年の同行休業が認められていることから、申請から定年までの就業期間について伺いました。

それに対し、申請時に5年間の残期間がなければ休業申請は認められないとの答弁がありました。

次に**議案第3号**は東日本大震災時の原発事故による放射性物質等での市の被害に対する東京電力からの損害賠償について交渉が進まないために「原子力損害賠償紛争解決センター」に和解の仲裁を申し入れるとのことだが、原子力損害賠償紛争解決センターとの和解は可能と考えるかについて伺いました。

それに対し、損害賠償紛争解決センターでの多くの和解の実績を考えると和解は可能と考えているとの答弁がありました。

常任委員会とは？！

鎌ヶ谷市議会には3常任委員会があり、議員24名はどこかいずれかの委員会に所属します。総務企画常任委員会は財政や企画、消防などに関する内容を担当。都市・市民生活常任委員会は都市基盤や環境などを担当。教育福祉常任委員会は学校・生涯教育・文化、市民福祉に関することを担当。議案や陳情等は各委員会に付託し、最終日の本会議で賛否の表決がなされます。

議会運営委員会は議会運営や議会改革に関する事項を、慎重に審議します。委員会の構成は各会派の人数に応じ配分されます。公明党は2名です。

公明党議員は下記の各委員会に所属しています。

- | | |
|---------------|--------------|
| *総務企画常任委員会 | ◎佐藤 誠、池ヶ谷富士夫 |
| *都市・市民生活常任委員会 | ○川原千加子、矢崎 悟 |
| *教育福祉常任委員会 | 小易和彦 |
| *議会運営委員会 | ○小易和彦、池ヶ谷富士夫 |

◎委員長 ○副委員長

情報スポット

市役所本庁舎の免震工事始まる！



工事説明を受ける公明党市議団

市役所本庁舎は、かねてより耐震強度不足により倒壊の危険性が指摘されていましたが、先の東日本大震災の際も震度5弱という中で想像以上の大きな揺れを起こしました。

本庁舎は災害時には鎌ヶ谷市の災害対策本部の機能を担う重要な拠点となります。今年の3月議会において工事費28億4796万円の契約が承認され、本庁舎（地上6階・地下1階）の免震改修工事が4月より始まりました。

先ごろ公明党市議団は、本格的な工事に入った現地を視察し、担当者から工事の工法や安全対策について説明を受けました。今後の工程として本庁舎を取り囲うコンクリート擁壁の築造、庁舎本体下部を含めた周辺の掘削工事と進み、平成28年7月頃からは地下基礎柱部分に合計56個の免震装置を設置し、平成29年3月末の完了を目指します。

尚、今回の免震改修工事は、建物内・外の周辺設備機械改修工事を伴う長期にわたる大規模工事のため、庁舎を利用される市民の皆様の安全通路の確保や工事車両等での事故防止など安全第一で工事を進めるよう申し入れました。

公明党議員からの市政に対する一般質問(概要)



池ヶ谷富士夫 議員

1. 26号線バイパスの対応について

現在利用している市道26号線は、都市計画道路3・4・7号線の妙蓮寺横からグリーンハイツ方面に向かう道路であります。沿道の幅員は狭く、家が建ち並び、急坂で車の往き来が激しく大変危険な道路となっています。また一部通学路にもなっています。そのため、以前から計画されていた26号線バイパスについては、鎌ヶ谷高校脇からグリーンハイツまでの約1,000mのバイパス計画の実現を図り、後期基本計画(H27年度～H31年度)に位置づけるよう要望しました。市からは、現道の状況は充分認識しており、今後は庁内調整を含め真剣に取り組んでまいりたいとの答弁がありました。

2. 私道舗装整備要綱の改正について

私道に隣接する戸数を現状の5戸から3戸への変更と再舗装ができるように私道舗装整備要綱の改正を要望しました。



佐藤 誠 議員

1. コミュニティバス運行の課題と対応策について

コミュニティバスは交通空白地域の住民の大事な足として利用されていますが、高齢化とともにバスの役割や各路線見直し、また増車やバス停の増設など市民からの要望等をふまえ質問し、昨年の市長の公約であるコミュニティバスの利便性向上の考えについて伺いました。市長からは、土、日曜の運行や平日の増便についても実現に向けて検討を進めてまいりたい。また、コミュニティバス運営検討委員会を立ち上げ、市民の要望等をバス運営に反映していくとの答弁がありました。

2. 教育ミニ集会について

学校職員と保護者や地域住民が様々な教育課題について語り合う教育ミニ集会が毎年行われていますが、開かれた学校づくりや地域コミュニティの構築にどのように反映されているのか伺いました。教育委員会からは、ミニ集会を通して学校、保護者、地域が、それぞれの役割を共通理解し、責任を持って子どもに接する必要があることを認識できている旨の答弁がありました。



小易 和彦 議員

1. 自転車の安全利用について／信号無視などの危険な行為を繰り返す自転車運転者に講習受講を義務づける「改正道路交通法」が6月1日に施行されました。これを契機に、社会全体で自転車マナーの向上を進めていきたいものです。鎌ヶ谷市の対応として、①自転車運転マナーの向上②自転車保険の加入率向上③自転車走行環境の整備の3点について質問。警察をはじめとする関係機関との連携により、さまざまな機会を捉えて自転車の安全利用について効果的に啓発に取り組み、単に取り締まりだけに頼らない自転車利用環境の整備を推進していくことを要望しました。

2. 空き家対策について／放置された空き家の撤去や活用を促す「空き家対策特別措置法」が5月26日に完全施行されました。特措法では、衛生面や景観面など、条例で指導してきた以上の空き家についての対応や空き家に対する総合的な計画の策定が求められています。鎌ヶ谷市が安心・安全に暮らせるまちであるためにも、これまで以上に市が丸となって空き家対策に取り組むことを要望しました。



川原 千加子 議員

1. 新たなセーフティネット、生活困窮者自立支援制度について

鎌ヶ谷市は、本年4月から生活困窮者自立支援事業を開始しました。生活保護受給者以外の生活困窮者が抱える多様で複合的な課題を解きほぐしながら必要な自立支援を行うことにより、生活困窮状態からの脱却を図ることを目的としています。現に生活に困窮されている方だけでなく、ニートや引きこもりぎみな方など、将来的な生活に不安を感じている方も対象となっています。早期支援が早期自立に繋がるため、市民への周知や個別の求人開拓の必要性があると考え、市の取り組みや考えについて伺いました。また相談者に寄り添う形で支援を行っていただくことを要望しました。

2. ユスリカ対策について

一年中ユスリカに悩まされている市民がいることに対して、市はしっかりと対応する必要があることを訴えました。環境への影響が少ない薬剤を試験的に使用し、対策を進めていくとの答弁がありました。



矢崎 悟 議員

1. 市内における知的障がい児・者の現状と今後の課題について

知的障がい児・者の専門的ケアを行う障がい福祉施設が少ないとの声や、知的障がい児・者を支援する介護者の高齢化に対する市民からの不安の声を受け、質問しました。鎌ヶ谷市第4期障がい福祉計画において、障がい者の地域での生活という視点のもと、グループホームの利用計画人数を毎年5人ずつ増員するとの答弁がありました。その上で、長距離の移動が困難な介護支援者に対しては、可能な限り近くの障がい者施設の利用を可能にすること、また県や近隣市と連携を図りながら、障がい福祉サービスの拡充に今後も努めて頂くよう、市に要望しました。

2. ミナトゴルフセンター防球ネット工事および安全管理について

近隣住民の皆様から、防球ネット工事計画に対して不安の声を頂き、説明会の開催を要望したところ、7月上旬に説明会の実施を行うと伴に、市も説明会に出席し、近隣住民の不安解消に努めるとの答弁がありました。